

平成 28 年度大気汚染物質広域監視システム等機器の管理業務

調達仕様書

環境省

目次

1. 調達案件の概要に関する事項	3
1. 1 調達件名	3
1. 2 調達の背景	3
1. 3 目的及び期待する効果	3
1. 4 業務・情報システムの概要	3
1. 5 契約期間	3
1. 6 作業スケジュール	4
2. 調達案件及び関連調達案件の調達単位、調達の方式等に関する事項	4
2. 1 調達案件及びこれと関連する調達案件の調達単位、調達の方式、実施時期	4
3. 作業の実施内容に関する事項	4
3. 1 作業の内容	4
ア 保守に係る記載内容	4
ア) 中長期・保守作業計画書の確定支援	5
イ) 保守計画書及び保守実施要領の作成支援	5
ウ) 定常時対応	5
エ) 障害発生時対応	5
オ) 情報システムの現況確認支援	5
カ) 運用作業の改善提案	5
キ) 引継ぎ	5
イ ODB登録用シートの提出	6
3. 2 成果物の範囲、納品期日等	6
ア 成果物	6
イ 納品方法	6
ウ 納品場所	7
4. 満たすべき要件に関する事項	7
5. 作業の実施体制・方法に関する事項	7
5. 1 作業実施体制	7
5. 2 作業場所	8
5. 3 作業の管理に関する要領	8
6. 作業の実施に当たっての遵守事項	8
6. 1 機密保持、資料の取扱い	8
6. 2 遵守する法令等	8

ア	法令等の遵守	8
イ	その他文書、標準への準拠	8
ウ	政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン	8
7.	成果物の取扱いに関する事項	9
7.1	知的財産権の帰属	9
7.2	検収	9
7.3	瑕疵担保責任	9
8.	入札参加資格に関する事項	10
9.	再委託に関する事項	10
9.1	再委託の制限及び再委託を認める場合の条件	10
9.2	承認手続	10
9.3	再委託先の契約違反等	10
10.	その他特記事項	10
11.	資料閲覧要領	10

1. 調達案件の概要に関する事項

1. 1 調達件名

平成 28 年度大気汚染物質広域監視システム等機器の管理業務

1. 2 調達の背景

環境省で運用している「大気汚染物質広域監視システム」（以下「そらまめ君」という。）は全国の大気常時監視測定局から得られるデータを収集して、インターネット上で大気汚染状況を公開するものである。

また、同じく環境省で運用している「花粉観測システム」（以下「はなこさん」という。）は、全国に設置している花粉自動計測器から得られる花粉観測データを収集して、インターネット上で花粉飛散状況を公開するものである。これらのシステムを総称して、以下「本システム」という。

これらの情報を発信するサーバ、収集するクライアントについては、国民へ情報を発信する業務を維持管理するため、適切な運用及び保守を行わなければならない。

1. 3 目的及び期待する効果

本システムは、別途契約により環境省が指定するデータセンター（以下「データセンター」という。）において、サーバを運用している。また「そらまめ君」にデータを集信する端末（以下「集信クライアント」という。）については、地方自治体等で運用している。

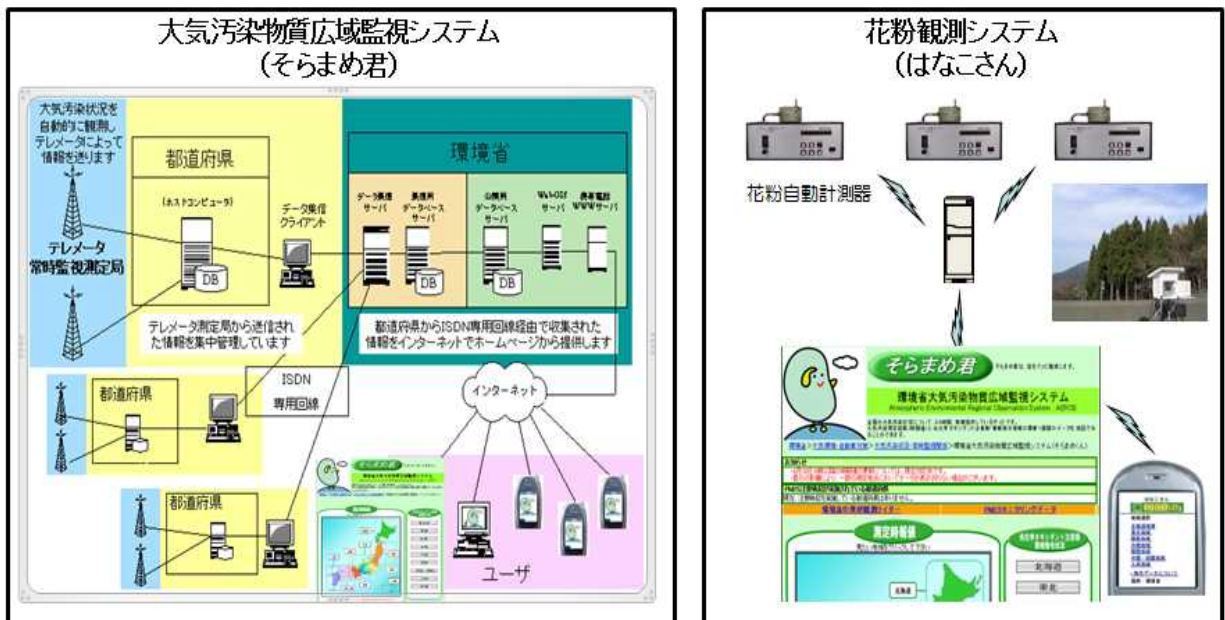
本業務は、稼働するサーバ及び「集信クライアント」について、故障時の保守を行い、適切なタイミングでセキュリティソフト及びアップデートの必要のあるソフトウェアを提供し、滞りなく業務を進めることができる維持体制の確保をすることを目的とする。

1. 4 業務・情報システムの概要

本システムの概略図を以下に示す。

データセンター及び集信クライアントの設置箇所は「別紙」のとおり。

図 1.4 システム概略図



1. 5 契約期間

契約締結日から平成 29 年 3 月 31 日まで

1. 6 作業スケジュール

本業務は平成 29 年 3 月 31 日までを前提としている。

表 1.6 作業スケジュール

スケジュール	平成28年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
保守													→

2. 調達案件及び関連調達案件の調達単位、調達の方式等に関する事項

2. 1 調達案件及びこれと関連する調達案件の調達単位、調達の方式、実施時期

関連する調達案件の調達単位・時期は以下のとおり。

- ア 本業務は以下の「業務C 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等機器の管理業務」（以下「業務C請負業務」という。）にあたる。
- イ 請負者は、「業務A 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等表示系管理業務請負業者」（以下「業務A請負業者」という。）と調整を行い、「業務A請負業者」が運用する機器が故障した場合は24時間365日オンサイトで修理を行う。
- イ 請負者は、「業務B 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等収集系管理業務請負業者」（以下「業務B請負業者」という。）と調整を行い、「業務B請負業者」が運用する機器のうち、サーバーが故障した場合は24時間365日オンサイトで修理を行う。また、集信クライアントが故障した場合は、日中オンサイトで対応を行う。
- ウ 請負者は、「業務D 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等データセンター使用業務請負業者」（以下「業務D請負業者」という。）と調整を行い、機器保守時の対応について調整をする。

表2.1-1 関連する調達案件一覧

NO	調達案件名	調達の方式	実施時期
1	業務A 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等表示系管理業務	一般競争入札 (最低価格落札方式)	平成28年度4月
2	業務B 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等収集系管理業務	随意契約方式	平成28年度4月
3	業務C 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等機器の管理業務	一般競争入札 (最低価格落札方式)	平成28年度
4	業務D 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等データセンター使用業務	随意契約方式	平成28年度4月

3. 作業の実施内容に関する事項

3. 1 作業の内容

- ア 保守に係る記載内容

ア) 「中長期保守作業計画書」の確定支援

請負者は、環境省が「中長期保守作業計画書」を確定するに当たり、本システムの構成やライフサイクルを通じた保守作業の内容について、計画案の妥当性の確認、情報提供等の支援を行うこと。

イ) 「保守計画書」及び「保守実施要領」の作成支援

請負者は、環境省が「保守計画書」及び「保守実施要領」を作成するに当たり、具体的な保守作業内容や実施時間、実施サイクル等に関する資料作成等の支援を行うこと。

ウ) 定常時対応

- ・請負者は、「保守計画書」及び「保守実施要領」に基づき、業務の内容や工数などの作業実績状況、サービスレベルの達成状況、本システムの機器構成と運転状況（情報セキュリティ対策状況を含む。）を月次で取りまとめること。
- ・請負者は、月間の保守実績を評価し、達成状況が目標に満たない場合はその要因の分析を行うとともに、達成状況の改善に向けた対応策を提案すること。

エ) 障害発生時対応

- ・請負者は、本システムの障害発生時（又は発生が見込まれる時）には、別途「業務A請負業者」又は「業務B請負業者」から連絡があるので、「要件定義書」の保守要件に基づいて対応を行うこと。
- ・請負者は、本システムの障害に関して事象の分析（発生原因、影響度、過去の発生実績、再発可能性等）を行い、同様の事象が将来にわたって発生する可能性がある場合には、恒久的な対応策を提案すること。
- ・請負者は、大規模災害等の発災時には、環境省の指示を受けて、環境省が定める「情報システム運用継続計画」に基づく運用業務を実施すること。

オ) 本システムの現況確認支援

- ・請負者は、環境省の指示に基づき、ODB格納データと情報システムの現況との突合・確認（以下「現況確認」という。）を支援すること。
- ・請負者は、現況確認の結果、ODBの格納データと本システムの現況との間の差異がみられる場合は、「保守実施要領」に定める変更管理方法に従い、差異を解消すること。
- ・請負者は、現況確認の結果、ライセンス許諾条件に合致しない状況が認められる場合は、当該条件への適合可否、条件等を調査の上環境省に報告すること。
- ・請負者は、現況確認の結果、サポート切れのファームウェア製品の使用が明らかとなった場合は、当該製品の更新の可否、更新した場合の影響の有無等を調査の上環境省に報告すること。

カ) 保守作業の改善提案

請負者は、年度末までの保守実績を取りまとめるとともに、必要に応じて「中長期保守作業計画書」、「保守計画書」及び「保守実施要領」に対する改善提案を行うこと。

キ) 引継ぎ

- ・請負者は、環境省が本システムの更改を行う際には、次期システムにおける要件定義支援事業者及び設計・開発事業者等に対し、作業経緯、残存課題等に関する情報提供及び質疑応答等の協力を行うこと。
- ・請負者は、本業務の終了後に他の事業者が、本システムの保守業務を受注した場合には、作業経緯、残存課題等についての引継ぎを行うこと。

イ 「ODB登録用シート」の提出

- ・請負者は、「政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン 別紙2 情報システムの経費区分」に基づき区分等した契約金額の内訳を記載した「ODB登録用シート」を契約締結後速やかに提出すること。
- ・ハードウェアの管理
 - 構成するハードウェアの製品名、型番、ハードウェア分類、契約形態、保守期限等。
- ・ソフトウェアの管理
 - 構成するソフトウェアの製品名、型番、製品分類、契約形態、保守期限等。
- ・作業実績等の管理
 - 情報システムの保守作業中に取りまとめた作業実績、リスク、課題及び障害事由等。

3. 2 成果物の範囲、納品期日等

ア 成果物

ア) 保守計画書及び保守実施要領の作成にかかる資料

イ) ODB登録用シート

ウ) 保守作業報告書

- ・障害対応履歴
- ・更新履歴及び作業内容等

エ) 保守作業の改善提案

上記ア) については、契約締結後、速やかに環境省の確認を得たうえで提出すること。

上記イ) については、環境省から求められた場合に提出すること。

上記ウ) については、毎月初めに前月分を環境省に提出すること。

なお、3月分は、平成29年3月24日までの内容を同年3月30日までに提出すること。

また、同年3月25日以降について、突発的な不具合があった場合には、速やかに環境省に連絡・報告するとともに、各種データについても整理しておくこと。

上記エ) については、保守作業に改善等が必要な場合に、その改善提案を提出すること。

イ 納品方法

- ・成果物は、全て日本語で作成すること。
- ・用字・用語・記述符号の表記については、「公用文作成の要領（昭和27年4月4日内閣閣令第16号内閣官房長官依命通知）」を参考にすること。
- ・情報処理に関する用語の表記については、日本工業規格（JIS）の規定を参考にすること。
- ・成果物は紙媒体及び電磁的記録媒体により作成し、環境省から特別に示す場合を除き、原則紙媒体は正1部・副1部、電磁的記録媒体は2部を納品すること。
- ・紙媒体による納品について、用紙のサイズは、原則として日本工業規格A列4番とするが、必要に応じて日本工業規格A列3番を使用すること。
- ・紙媒体及び電磁的記録媒体の仕様については（別添）のとおり。
- ・報告書の予想ページ数は、毎月の運用報告書はA列4番、10頁程度。
- ・納品後環境省において改変が可能となるよう、図表等の元データも併せて納品すること。
- ・成果物の作成に当たって、特別なツールを使用する場合は、環境省の確認を得ること。
- ・成果物が外部に不正に使用されたり、納品過程において改ざんされたりすることのないよう、安全な納品方法を提案し、成果物の情報セキュリティの確保に留意すること。
- ・電磁的記録媒体により納品する場合は、不正プログラム対策ソフトウェアによる確認を

行うなどして、成果物に不正プログラムが混入することのないよう、適切に対処すること。

ウ 納品場所

原則として、成果物は次の場所において引渡しを行うこと。ただし、環境省が納品場所を別途指示する場合はこの限りではない。

〒100-8975

東京都千代田区霞が関1-2-2

場所：環境省水・大気環境局大気環境課

4. 満たすべき要件に関する事項

本業務の実施に当たっては、「要件定義書」の各要件を満たすこと。

5. 作業の実施体制・方法に関する事項

5. 1 作業実施体制

本システムの作業の推進体制及び請負者に求める作業実施体制は、下図のとおりである。

なお、請負者内のチーム編成（下表）については想定であり、請負者決定後に協議の上、見直しを行うこと。

また、請負者の情報セキュリティ対策の管理体制については、作業実施体制とは別に作成すること。

図5.1 作業実施体制図

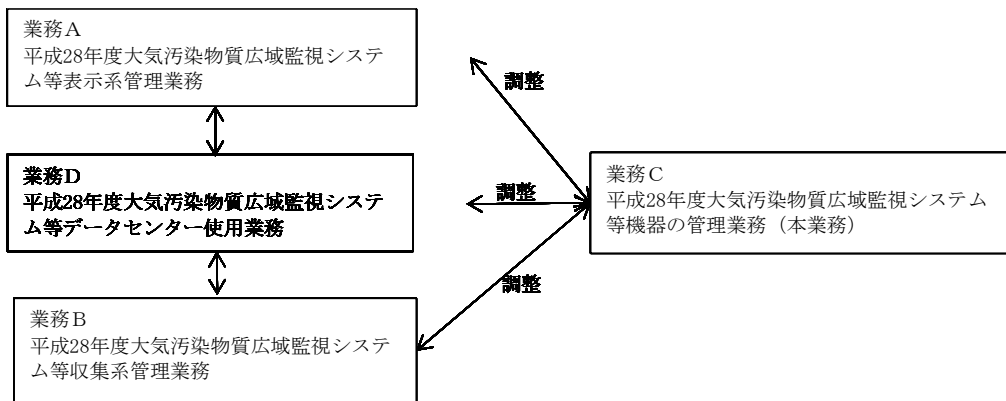


表5.1 請負者内のチーム編成とその役割

NO	組織又は要員	役割
1	遂行責任者	本業務全体を統括し、必要な意思決定を行う。また、各関連する組織・部門とのコミュニケーション窓口を担う。原則として全ての進捗会議及び品質評価会議に出席する。
2	チームリーダー	チーム内において作業状況の監視・監督を担うとともに、チーム間の調整を図る。
3	システム保守担当者	システム保守に際し該当機器の動作チェックを行い、部品等を交換し、稼働確認を実施する。

5. 2 作業場所

- ・本業務の作業場所及び作業に当たり必要となる設備、備品及び消耗品等については、請負者の責任において調整し用意すること。また、必要に応じて環境省が現地確認を実施することができるものとする。
- ・データセンターでの作業については、環境省が指定する場所（東京都23区内）で行うこと。
- ・地方自治体等における作業については、「業務B請負業者」と調整を行った上、「別紙」に指定する場所で行うこと。

5. 3 作業の管理に関する要領

- ・請負者は、環境省が定める「保守実施要領」に基づき、保守業務に係るコミュニケーション管理、体制管理、作業管理、リスク管理、課題管理、システム構成管理、変更管理、情報セキュリティ対策を行うこと。

6. 作業の実施に当たっての遵守事項

6. 1 機密保持、資料の取扱い

請負者は、機密保持や資料の取扱い等について、以下の措置を講ずること。

- ・請負業務以外の目的で利用しないこと。
- ・業務上知り得た情報について第三者への開示や漏えいをしないこと。
- ・許可無くデータの持出しは禁止する。
- ・請負者の責に起因する情報セキュリティインシデントが発生するなどの万一の事故があった場合に直ちに報告を行い、必要に応じて環境省の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。
- ・環境省から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。また、本業務において請負者が作成した情報についても、環境省からの指示に応じて適切に廃棄すること。

6. 2 遵守する法令等

ア 法令等の遵守

本業務の業務遂行に当たっては、著作権法、不正アクセス行為の禁止等に関する法律等を遵守し履行すること。

イ その他文書、標準への準拠

本業務の遂行に当たっては、「環境省情報セキュリティポリシー」に準拠して作業を実施すること。

環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

ウ 政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン

本業務の遂行に当たっては、「政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」（平成26年12月3日に各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）に準じて作業を実施すること。

政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/dai58/honbun.pdf>

7. 成果物の取扱いに関する事項

7. 1 知的財産権の帰属

・本業務における成果物の著作権及び二次的著作物の著作権（「著作権法」（昭和45年法律第48号）第21条から第28条に定める全ての権利を含む。）は、請負者が本業務の実施の従前から権利を保有していた等の明確な理由によりあらかじめ権利譲渡不可能と示されたもの以外は、全て環境省に帰属するものとする。

・成果物の中に既存著作物が含まれている場合、その著作権は請負者に留保されるが、可能な限り、環境省が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、無償で既存著作物の利用を許諾する。

・環境省は、成果物について、第三者に権利が帰属する場合を除き、自由に複製し、改変等し、及びそれらの利用を第三者に許諾することができるとともに、任意に開示できるものとする。また、請負者は、成果物について、自由に複製し、改変等し、及びこれらの利用を第三者に許諾すること（以下「複製等」という。）ができるものとする。ただし、成果物に第三者の権利が帰属するときや、複製等により環境省がその業務を実施する上で支障が生じるおそれがある旨を契約締結時までに通知したときは、この限りでないものとし、この場合には、複製等ができる範囲やその方法等について協議するものとする。

・本業務に関する権利（「著作権法」（昭和45年法律第48号）第21条から第28条に定める全ての権利を含む。）及び成果物の所有権は、環境省から請負者に対価が完済されたとき請負者から環境省に移転するものとする。

・納品される成果物に第三者が権利を有する著作物（以下「既存著作物等」という。）が含まれる場合には、請負者は、当該既存著作物等の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に関わる一切の手続を行うこと。この場合、本業務の請負者は、当該既存著作物の内容について事前に環境省の承認を得ることとし、環境省は、既存著作物等について当該許諾条件の範囲で使用するものとする。成果物の納品に際し、請負者は、第三者が二次利用できる箇所とできない箇所の区別がつくように留意し、第三者が二次利用をできない箇所についてはその理由についても付するものとする。

・請負者は環境省に対し、一切の著作者人格権を行使しないものとし、また、第三者をして行使させないものとする。

7. 2 検収

・本業務の請負者は、成果物等について、納品期日までに環境省に内容の説明を実施して検収を受けること。

・検収の結果、成果物等に不備又は誤り等が見つかった場合には、直ちに必要な修正、改修、交換等を行い、変更点について環境省に説明を行った上で、指定された日時までに再度納品すること。

7. 3 瑕疵担保責任

・請負者は、本業務について検収が行われた日を起算日として1年間、成果物に対する瑕疵担保責任を負うものとする。その期間内において瑕疵があることが判明した場合には、その瑕疵が環境省の指示によって生じた場合を除き（ただし、請負者がその指示が不適當であることを知りながら、又は過失により知らずに告げなかったときはこの限りでない。）、請負者の責任及び負担において速やかに修正等を行い、指定された日時までに再度納品するものとする。なお、修正方法等については事前に環境省の承認を得てから着手するとともに、修正結果等についても環境省の承認を受けること。

・前項の瑕疵担保期間経過後であっても、成果物等の瑕疵が請負者の故意又は重大な過失に基づく場合は、本業務について検収が行われた日を起算日として1年間はその責任を負うものとする。

・環境省は、前各項の場合において、瑕疵の修正等に代えて、当該瑕疵により通常生ずべき損害に対する賠償の請求を行うことができるものとする。また、瑕疵を修正してもなお生じる損害に対しても同様とする。

8. 入札参加資格に関する事項

入札参加要件については、「入札説明書」に記載のとおりとする。

9. 再委託に関する事項

9. 1 再委託の制限及び再委託を認める場合の条件

- ア 本業務の請負者は、全部又は大部分を一括して再委託してはならない。
- イ 請負者における遂行責任者を再委託先事業者の社員や契約社員とすることはできない。
- ウ 請負者は再委託先の行為について一切の責任を負うものとする。
- エ 再委託先における情報セキュリティの確保については請負者の責任とする。

9. 2 承認手続

- ア 本業務の実施の一部を合理的な理由及び必要性により再委託する場合には、あらかじめ再委託の相手方の商号又は名称及び住所並びに再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び契約金額等について記載した再委託承認申請書を環境省に提出し、あらかじめ承認を受けること。
- イ 前項による再委託の相手方の変更等を行う必要が生じた場合も、前項と同様に再委託に関する書面を環境省に提出し、承認を受けること。
- ウ 再委託の相手方が更に委託を行うなど複数の段階で再委託が行われる場合（以下「再々委託」という。）には、当該再々委託の相手方の商号又は名称及び住所並びに再々委託を行う業務の範囲を書面で報告すること。

9. 3 再委託先の契約違反等

再委託先において、本調達仕様書及び契約内容に定める事項に関する義務違反又は義務を怠った場合には、請負者が一切の責任を負うとともに、環境省は、当該再委託先への再委託の中止を請求することができる。

10. その他特記事項

本業務の契約締結後に調達仕様書（「要件定義書」を含む。）の内容の一部について変更を行おうとする場合、その変更の内容、理由等を明記した書面をもって環境省に申し入れを行うこと。双方の協議において、その変更内容が軽微（契約金額、納期に影響を及ぼさない）かつ許容できると判断された場合は、変更の内容、理由等を明記した書面に双方が記名捺印することによって変更を確定する。

11. 資料閲覧要領

本業務を行うに当たって、本システムに係る資料の内容を把握しておくこと。

入札参加希望者は、下記に示す本システムに係る資料を、所定の手続きを経て環境省内で閲覧することができる。

- ・平成27年度大気汚染物質広域監視システム、花粉観測システム、放射線モニタリングデータ公開システム及び大気環境情報共有サイト表示系保守・運用業務報告書
- ・平成27年度大気汚染物質広域監視システム及び花粉観測システム収集系管理業務報告書
- ・平成27年度大気汚染物質広域監視システム、花粉観測システム、放射線モニタリングデータ公開システム及び大気環境情報共有サイトデータセンター使用業務報告書

資料閲覧を希望する者は、以下の連絡先に予め連絡の上、訪問日時及び閲覧希望資料を調整すること。ただし、コピーや写真撮影等の行為は禁止する。また、閲覧等を希望する資料であっても、情報セキュリティ保護等の観点から、提示できない場合がある。

連絡先：環境省 水・大気環境局 大気環境課

03-3581-3351（内線6538）

1. 報告書等の仕様及び記載事項

報告書等の仕様は、「環境物品等の調達に関する基本方針」（平成 28 年 2 月 2 日閣議決定。以下「基本方針」という。）の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」（基本方針 204 頁、表 3 参照）及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」（基本方針 205 頁、表 4 参照）を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [A ランク] のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省と協議の上、基本方針 (<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>) を参考に適切な表示を行うこと。

2. 電子データの仕様

(1) Microsoft 社 Windows7 SP1 上で表示可能なものとする。

(2) 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。

- ・ 文章；ワープロソフト Justsystem 社一太郎（ファイル形式は一太郎 2011 以下）、又は Microsoft 社 Word（ファイル形式は Word2010 以下）
- ・ 計算表；表計算ソフト Microsoft 社 Excel（ファイル形式は Excel2010 以下）
- ・ 画像；BMP 形式又は JPEG 形式

(3) (2) による成果物に加え、「PDF ファイル形式」による成果物を作成すること。

(4) 以上の成果物の格納媒体は DVD-R とする。事業年度及び事業名称等を収納ケース及び DVD-R に必ずラベルにより付記すること。

(5) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省の指示に従うこと。

3. その他

成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、請負者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

集信クライアント設置場所一覧

No	設置場所名	住所
1	北海道環境推進課	札幌市中央区北3条西6丁目 12階
2	札幌市環境対策課	札幌市中央区北1条西2丁目
3	青森県環境保健センター	青森市東造道1-1-1
4	岩手県環境保健研究センター	盛岡市飯岡新田1-36-1
5	秋田県庁第2庁舎環境監視室	秋田市山王3-1-1 秋田県庁第2庁舎内
6	宮城県保健環境センター	仙台市宮城野区幸町4-7-2
7	N T T 西日本神戸データセンター (注: 山形県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
8	N T T 西日本神戸データセンター (注: 福島県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
9	新潟県環境対策課	新潟市中央区新光町4-1
10	長野県環境保全研究所	長野市大字安茂里字米村1978
11	国立医薬品食品衛生研究所	世田谷区上用賀1-18-1
12	茨城県環境対策課	水戸市笠原町978-6
13	栃木県保健環境センター	宇都宮市下岡本町2145-13
14	群馬県環境保全課	前橋市大手町1-1-1
15	さいたまメディアウエーブ	埼玉県さいたま市中央区新都心9番地
16	千葉県大気保全課	千葉市中央区市場町1-1
17	神奈川県環境科学センター	平塚市四之宮1-3-39
18	山梨県衛生公害研究所	甲府市富士見1-7-31
19	N T T 西日本神戸データセンター (注: 岐阜県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
20	静岡県環境衛生科学研究所	静岡市葵区北安東4-27-2
21	愛知県大気環境課	名古屋市中区三の丸3-1-2
22	(株)サイバーウェイブジャパン (注: 三重県)	三重県志摩市阿児町神明字寺川原764-184
23	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	大津市柳が崎5-34
24	京都府保健環境研究所	京都市伏見区村上町395
25	大阪府環境農林水産総合研究所	大阪市東成区中道1-3-62
26	兵庫県環境影響評価課	神戸市中央区下山手通5-10-1
27	富山県環境科学センター	射水市中太閤山17-1
28	石川県保健環境センター	金沢市太陽が丘1-11
29	福井県衛生環境研究センター	福井市原目町39-4
30	奈良県環境政策課	奈良市登大路町30
31	株式会社サイバーリンクス	和歌山県海南市南赤坂7番地1
32	株式会社鳥取県情報センター	鳥取市東町1-220 1階 (鳥取県議会棟別館)
33	島根県保健環境科学研究所	松江市西浜佐陀町582-1
34	岡山県環境保健センター	岡山市内尾739-1
35	広島県環境保全課	広島市中区基町10-52
36	山口県環境保健センター	山口市朝田535
37	徳島県徳島保健所	徳島市新蔵町3-80
38	香川県環境保健研究センター	高松市朝日町5-3-105
39	愛媛県立衛生環境研究所	松山市三番町8-234
40	高知県環境研究センター	高知市棧橋通6-7-43
41	福岡県保健環境研究所	太宰府市大字向佐野字迎田39
42	佐賀県環境センター	佐賀市鍋島町八戸溝119-1
43	長崎県環境保健研究センター	大村市池田2-1306-11
44	熊本県保健環境科学研究所	宇土市栗崎町1240-1
45	大分県衛生環境研究センター	大分市高江西2-8
46	宮崎県衛生環境研究所	宮崎市学園木花台西2-3-2
47	鹿児島県環境保健センター	鹿児島市城南町18
48	沖縄県衛生環境研究所	南城市大里字大里2085
49	アジア大気汚染研究センター (A C A P)	新潟県新潟市西区曾和1182番地

平成 28 年度大気汚染物質広域監視システム等機器の管理業務
要件定義書

環境省

目 次

1. 業務要件の定義	2
1. 1 業務実施手順に関する事項	2
1. 2 時期・時間に関する事項	3
1. 3 場所等に関する事項	3
1. 4 管理すべき指標に関する事項	3
1. 5 業務の継続の方針等に関する事項	3
2. 機能要件の定義	4
2. 1 機能に関する事項	4
3. 非機能要件の定義	4
3. 1 規模に関する事項	4
3. 2 信頼性に関する事項	5
3. 3 拡張性に関する事項	5
3. 4 中立性に関する事項	5
3. 5 継続性に関する事項	5
3. 6 情報セキュリティに関する事項	6
3. 7 情報システム稼働環境に関する事項	8
3. 8 テストに関する事項	8
3. 9 引継ぎに関する事項	8
3. 10 保守に関する事項	8
3. 11 その他	9

1. 業務要件の定義

1. 1 業務実施手順に関する事項

ア 業務の範囲

環境省で運用している「大気汚染物質広域監視システム」（以下「そらまめ君」という。）は全国の大気常時監視測定局から得られるデータを収集して、インターネット上で大気汚染状況を公開するものである。

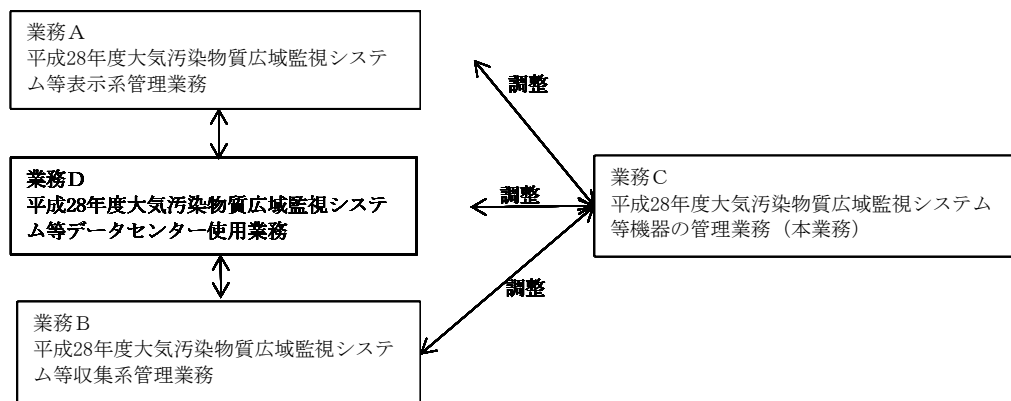
また、同じく環境省で運用している「花粉観測システム」（以下「はなこさん」という。）は、全国に設置している花粉自動計測器から得られる花粉観測データを収集して、インターネット上で花粉飛散状況を公開するものである。これらのシステムを総称して、以下「本システム」という。請負者は環境書が指定するデータセンター（以下「データセンター」という。）に設置されたサーバ機器、「そらまめ君」にデータを集信する端末（以下「集信クライアント」という。）及びソフトウェアの保守を実施することを業務範囲とする。

イ 業務フロー

業務フローは以下のとおり。

- ・観測拠点で測定したデータは、「集信クライアント」を経由し、「データセンター」に設置されている収集系サーバ機器に集信される。集信されたデータは表示する機能をもった表示系サーバ機器に提供される。
- ・データセンター内のサーバ機器が故障した場合は、「業務A 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等表示系管理業務請負業者」（以下「業務A請負業者」という。）及び「業務B 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等収集系管理業務請負業者」（以下「業務B請負業者」という。）より連絡があるので、その対応について調整し、「業務D 平成28年度大気汚染物質広域監視システム等データセンター使用業務請負業者」（以下「業務D請負業者」という。）の了承をとり機器交換等の保守を行うこと。
- ・「集信クライアント」が故障した場合は、「業務B請負業者」より連絡があるため、その対応について調整し保守を行うこと。
- ・ソフトウェア等の保守について、ソフトウェアのアップデート等に合わせ環境省、「業務A請負業者」及び「業務B請負業者」と調整し提供すること。

図 1.1 業務範囲



- ウ 業務の実施に必要な体制
実施に必要な体制は以下のとおり。

表 1.1 請負者内の実施体制とその役割

NO	組織又は要員	役割
1	遂行責任者	本業務全体を統括し、必要な意思決定を行う。また、各関連する組織・部門とのコミュニケーション窓口を担う。原則として全ての進捗会議及び品質評価会議に出席する。
2	チームリーダー	チーム内において作業状況の監視・監督を担うとともに、チーム間の調整を図る。
3	システム保守担当者	システム保守に際し該当機器の動作チェックを行い、部品等を交換し、稼働確認を実施する。

1. 2 時期・時間に関する事項

本システムは、365日24時間稼働する。保守に関する問い合わせ等の対応については、「3. 10 保守に関する事項」を参照のこと。

1. 3 場所等に関する事項

使用するサーバ等機器は、東京都23区内に所在するデータセンターに設置されている。場所及び「業務D請負業者」の連絡先は請負者に環境省が別途連絡する。また、「集信クライアント」の設置場所は「別紙1」のとおり。

1. 4 管理すべき指標に関する事項

表 1.4 管理指標表

指標の種類	指標名	計算式	目標値	計測方法	計測周期
情報システム性能指標	サーバ機器稼働率	「年間実働時間／年間予定稼働時間」×100	99.7%	保守作業報告書	毎月
情報システム性能指標	集信クライアント稼働率	「年間実働時間／年間予定稼働時間」×100	98.5%	保守作業報告書	毎月

1. 5 業務の継続の方針等に関する事項

表 1.5 業務継続性表

目標復旧時間			稼働率	補足
管理機器名	定常時	大規模災害等の発災時	定常時	
サーバ機器	24時間365日 (1日以内)	7日以内	99.7%	ただし、拠点と迂回回線網が維持されている場合
集信クライアント	センドバック (平日5日以内)	7日以内	98.5%	ただし、拠点と迂回回線網が維持されている場合

2. 機能要件の定義

2. 1 機能に関する事項

使用するサーバ及びソフトウェア等一式はデータセンターに設置されている。また、各自治体等には、集信クライアントを設置している。

ア システムが稼働するサーバ等の一覧（OS、使用ソフトウェア）は「別紙2」のとおり。

イ ネットワーク構成は「別紙3」のとおりで、管理する機器は斜線部分にあたる。

3. 非機能要件の定義

3. 1 規模に関する事項

機器の用途・設置場所は以下のとおり。

表 3.1 機器設置一覧表

No	機器の区分	機器の用途	数	設置場所	補足
1	表示系システム	そらまめ君・はなこさん表示系 DB サーバ	1	データセンター	Red Hat Enterprise Linux 5.11
2	表示系システム	はなこさん WEB サーバ	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
3	表示系システム	そらまめ君 WEB サーバ	1	データセンター	Red Hat Enterprise Linux 5.11
4	表示系システム	そらまめ君画像作成サーバ	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
5	表示系システム	そらまめ君データ受信サーバ	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
6	収集系システム	そらまめ君集信サーバ	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
7	収集系システム	はなこさん収集系サーバ	1	データセンター	Red Hat Enterprise Linux 6.6
8	表示系システム	そらまめ君バックアップ用サーバ	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
9	表示系システム	そらまめ君画像作成サーバ2	1	データセンター	Windows Server 2008 R2 Standard
10	収集系システム	そらまめ君集信クライアント	1	別紙1のとおり	Windows7 Pro SP1

3. 2 信頼性に関する事項

ア 可用性に係る目標値

稼働率の目標値は以下のとおり。

表3.2 業務継続性表

NO	設定対象	指標名	目標値	補足
1	そらまめ君・はなこさん表示系 DB サーバ	稼働率	99.5%	
2	はなこさん WEB サーバ	稼働率	99.5%	
3	そらまめ君 WEB サーバ	稼働率	99.5%	
4	そらまめ君画像作成サーバ	稼働率	99.5%	
5	そらまめ君データ受信サーバ	稼働率	99.5%	
6	そらまめ君集信サーバ	稼働率	99.5%	
7	はなこさん収集系サーバ	稼働率	99.5%	
8	そらまめ君（はなこさん）画像作成サーバ2	稼働率	99.5%	

イ 可用性に係る対策

メモリ、HDD、電源等を冗長構成とし、かつ、HDD や電源、ファン等活性交換ができる製品を採用し一部の部品が故障した際でもシステムを止めずに修理が可能にすること。

なお、データセンターの電源設備を利用することにより環境省独自の UPS 等の機器を持たず瞬断への対応が可能となっている。

3. 3 拡張性に関する事項

本システム機器については、今後国民の利用者、閲覧者数の増加及び観測する対象項目の増加に伴い機器のメモリ、HDD 等の拡張ができる。

なお、別途増設等が必要になった際は、環境省と調整とする。

3. 4 中立性に関する事項

ア 導入するハードウェア、ソフトウェア等の構成要素は、標準化団体（ISO、IEE T F、IEEE、ITU、JISC等）が規定又は推奨する各種業界標準に準拠すること。

イ 本業務実施時に作成するドキュメント類を、第三者にも分りやすく作成すること。

3. 5 継続性に関する事項

「1. 4 管理すべき指標に関する事項」、「1. 5 業務の継続の方針等に関する事項」の方針に基づいて保守業務を実施すること。

本システム機器の保守部品については可能な限り共通化しているため、共通化した単位で保守部材を調達すること。また、法定耐用期間については保守部材を保持すること。

3. 6 情報セキュリティに関する事項

ア 外部委託

本システムの請負者に求められるセキュリティ要件は以下のとおりである。

請負者は、以下の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

ア) 請負者は、本業務の開始時に、本業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制について、環境省に書面（別添1）で提出すること。

請負者の情報セキュリティ対策の管理体制については、以下の要件を満たすこと。

- a. 本システムに環境省の意図しない変更が行われるなどの不正が見付かったときに、追跡調査や立入検査等、環境省と請負者が連携して原因を調査・排除できる体制を整備していること。また、当該体制が書類等で確認できること。
- b. 請負者の資本関係、役員等の情報、作業要員の氏名、所属、実績、国籍等の情報が把握できること。
- イ) 請負者の情報セキュリティ対策の実施について、以下の要件を満たすこと。
 - a. 情報セキュリティインシデントが発生した場合、原因分析及び対処方法を環境省に報告し、承認を得ること。
 - b. 情報セキュリティ対策その他の契約の履行状況について環境省に定期的に報告を行うこと。
 - c. 情報セキュリティ対策の完了後1年以内に請負者側の責めによる情報セキュリティ対策の不備が発見された場合には、請負者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

ウ) 請負者は、環境省から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付に応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。環境省より提供された要機密情報は、請負業務以外の目的で利用しないこと。

また、本業務において請負者が作成する情報については、環境省からの指示に応じて適切に取り扱うこと。機密性についての格付の定義は以下の表のとおり。

表 3.6-1 機密性についての格付の定義

格付の区分	分類の基準
機密性4情報	機密性3情報よりさらに重要で、関係者以外には極秘な情報
機密性3情報	機密性の特に高い情報 ・環境省極秘文書取扱規定による「極秘文書」 ・同規定による「秘文書」又は秘文書に相当する情報のうち、以下のようなもの。 －機密な内容の情報 －機微な個人情報が記載された情報
機密性2情報	機密性3情報以外で漏洩により、国民の権利が侵害され又は行政事務の遂行に支障を及ぼす恐れがある情報
機密性1情報	公開が可能な情報（既に公開されている情報を含む。）

エ) 請負者は、機密性2を含む要保護情報を取り扱う保守端末について、盗難、不正な持ち出し、第三者による不正操作、表示用デバイスの盗み見等の物理的な脅威から保護すること。

オ) 請負者は、要保護情報を取り扱うサーバ装置について、サーバ装置の盗難、不正な持ち出し、第三者による不正操作、表示用デバイスの盗み見等の物理的な脅威から保護すること。

カ) 請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。

キ) 請負者は、環境省から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。

また、請負業務において請負者が作成した情報についても、環境省からの指示に応じて適切に廃棄すること。

ク) 請負者は、本業務の終了時に、本業務で実施した情報セキュリティ対策を書面（別添2）で報告すること。

（参考）環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

ケ) 請負者は、環境省と協議の上、情報セキュリティに係るサービスレベルの保証について取り決めを行い、これを満たしていることを環境省に定期的に報告すること。

イ 本システムのライフサイクル

請負者は、本システムに関する脆弱性への対策として、以下を含む対策を実施し、「情報セキュリティ対策結果報告書」に実施結果を記載の上、環境省に報告し、確認を得ること。

ア) 利用するソフトウェアはサポート期間を考慮して選定し、サポート期間を過ぎたソフトウェアは原則として利用しないこと。

イ) 構成要素ごとにソフトウェア等のバージョン等を把握し、脆弱性対策の状況を確認すること。

ウ) セキュリティパッチ、バージョンアップソフトウェア等の脆弱性を解決するために利用されるファイルは、信頼できる方法で入手すること。

また、リビジョンアップやバージョンアップにおける使用権の提供を実施すること。

ウ 本システムの構成要素

請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。情報セキュリティ対策要件については以下の表のとおり。

表 3.6-2 情報セキュリティ対策要件の定義

NO	情報セキュリティ対策	対策にかかる要件
1	セキュリティホール対策	セキュリティホール対策の実施について、実施日、実施内容、実施者等必要な事項を記録する。
2	セキュリティホール対策	パッチ又はバージョンアップソフトウェア等のセキュリティホールを解決するために利用されるファイル（以下「対策用ファイル」という。）を信頼できる方法で入手し、対策用ファイルの完全性の検証方法が提供されている場合は、それを報告する。
3	システムの構成管理	情報セキュリティインシデントの発生要因を減らすとともに、情報セキュリティインシデントの発生時には迅速に対処するため、構築時の情報システムの構成（ハードウェア、ソフトウェア及びサービス構成に関する詳細情報）が記載された文書を提出するとともに文書どおりの構成とし、加えて情報システムに関する運用開始後の最新の構成情報及び稼働状況の管理を行う方法又は機能を備えること。

エ 請負者は役務内容を一部再委託する場合は、再委託されることにより生ずる脅威に対して情報セキュリティが十分に確保されるよう、再委託先に担保させること。

3. 7 情報システム稼働環境に関する事項

ア ハードウェア及びソフトウェア構成

「別紙2」を参照。

イ ネットワーク構成

ネットワーク構成図は「別紙3」参照。

3. 8 テストに関する事項

テストについては、「業務A請負業者」又は「業務B請負業者」が行うため、稼働環境に適用するOS、市販ソフトウェアのアップデート等のパッチ提供については、請負者は、別途「業務A請負業者」及び「業務B請負業者」にその情報を共有し、対策を行うこと。適用時については、環境省と打ち合わせて行うこと。

3. 9 引継ぎに関する事項

本システムの安定的な保守を実現するため、翌年度の保守事業者への引継ぎについては、環境省から提供する既存の「保守マニュアル」について、主に以下に挙げる項目について新規追加の有無及び修正の検討を行い反映させること。

ア 定期的に行うメンテナンス作業

イ 保守業務時における障害発生時の対処方法

ウ 連絡体制

3. 10 保守に関する事項

本業務の請負者は、環境省からの調査依頼に対する対応作業やシステム保守業務に必要な情報の管理作業を行う。

ア アプリケーションプログラムの保守要件

パッチ又はバージョンアップソフトウェア等の対策用ファイルについて提供を行うこと。

イ ハードウェアの保守要件

- ア) 保守、問い合わせ、障害対応の窓口を一本化し、一元的な窓口を用意すること。
 - イ) 問い合わせ受付及び障害対応は 24 時間体制とすること（問い合わせに対する回答は開庁日 9:30～18:00 とする。）。また、請負者提供範囲内において、障害時の切り分け作業に協力すること。
 - ウ) 保守体制に関する概念図、対応する組織名称、責任者氏名の資料を提示すること。
 - エ) イ) の連絡は、保守及びシステム等に関する連絡体制については、環境省が別途用意するメーリングリストを利用して行うこと。
 - オ) 請負者責任範囲における障害対応は 24 時間とし、障害検知後 12 時間以内での復旧を目標とし、速やかな障害対応に努めること。なお、機器の復旧作業は、開庁日 9:00～17:00 にオンサイトで機器交換を実施すること。
 - カ) 集信クライアントについては、センドバックとし「業務B請負業者」とともに、回収作業において自治体と調整をとること。
 - キ) その他疑義が生じた場合、環境省、「業務A請負業者」、「業務B請負業者」及び「業務D請負業者」と協議の上決定すること。
- ウ ソフトウェア製品の保守要件
問い合わせ、障害対応の窓口を用意すること。

3. 1 1 その他

- ア 請負者は、本要件定義書に疑義が生じたとき、本要件定義書により難しい事由が生じたとき、あるいは本要件定義書に記載のない細部については、環境省と速やかに協議しその指示に従うこと。
- イ 本業務の実施にあたっては、「政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」（平成 26 年 12 月 3 日第 58 回各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定）（以下「標準ガイドライン」という）に基づき、作業を実施すること。また、「標準ガイドライン」に基づく ODB 登録用シートを、環境省の依頼に基づき適時提出すること。

<参考>政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/cio/dai58/honbun.pdf>

集信クライアント設置場所一覧

No	設置場所名	住所
1	北海道環境推進課	札幌市中央区北3条西6丁目 12階
2	札幌市環境対策課	札幌市中央区北1条西2丁目
3	青森県環境保健センター	青森市東造道1-1-1
4	岩手県環境保健研究センター	盛岡市飯岡新田1-36-1
5	秋田県庁第2庁舎環境監視室	秋田市山王3-1-1 秋田県庁第2庁舎内
6	宮城県保健環境センター	仙台市宮城野区幸町4-7-2
7	N T T 西日本神戸データセンター (注: 山形県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
8	N T T 西日本神戸データセンター (注: 福島県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
9	新潟県環境対策課	新潟市中央区新光町4-1
10	長野県環境保全研究所	長野市大字安茂里字米村1978
11	国立医薬品食品衛生研究所	世田谷区上用賀1-18-1
12	茨城県環境対策課	水戸市笠原町978-6
13	栃木県保健環境センター	宇都宮市下岡本町2145-13
14	群馬県環境保全課	前橋市大手町1-1-1
15	さいたまメディアウエーブ	埼玉県さいたま市中央区新都心9番地
16	千葉県大気保全課	千葉市中央区市場町1-1
17	神奈川県環境科学センター	平塚市四之宮1-3-39
18	山梨県衛生公害研究所	甲府市富士見1-7-31
19	N T T 西日本神戸データセンター (注: 岐阜県)	神戸市中央区海岸通11番 (13階)
20	静岡県環境衛生科学研究所	静岡市葵区北安東4-27-2
21	愛知県大気環境課	名古屋市中区三の丸3-1-2
22	(株)サイバーウェイブジャパン (注: 三重県)	三重県志摩市阿児町神明字寺川原764-184
23	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	大津市柳が崎5-34
24	京都府保健環境研究所	京都市伏見区村上町395
25	大阪府環境農林水産総合研究所	大阪市東成区中道1-3-62
26	兵庫県環境影響評価課	神戸市中央区下山手通5-10-1
27	富山県環境科学センター	射水市中太閤山17-1
28	石川県保健環境センター	金沢市太陽が丘1-11
29	福井県衛生環境研究センター	福井市原目町39-4
30	奈良県環境政策課	奈良市登大路町30
31	株式会社サイバーリンクス	和歌山県海南市南赤坂7番地1
32	株式会社鳥取県情報センター	鳥取市東町1-220 1階 (鳥取県議会棟別館)
33	島根県保健環境科学研究所	松江市西浜佐陀町582-1
34	岡山県環境保健センター	岡山市内尾739-1
35	広島県環境保全課	広島市中区基町10-52
36	山口県環境保健センター	山口市朝田535
37	徳島県徳島保健所	徳島市新蔵町3-80
38	香川県環境保健研究センター	高松市朝日町5-3-105
39	愛媛県立衛生環境研究所	松山市三番町8-234
40	高知県環境研究センター	高知市棧橋通6-7-43
41	福岡県保健環境研究所	太宰府市大字向佐野字迎田39
42	佐賀県環境センター	佐賀市鍋島町八戸溝119-1
43	長崎県環境保健研究センター	大村市池田2-1306-11
44	熊本県保健環境科学研究所	宇土市栗崎町1240-1
45	大分県衛生環境研究センター	大分市高江西2-8
46	宮崎県衛生環境研究所	宮崎市学園木花台西2-3-2
47	鹿児島県環境保健センター	鹿児島市城南町18
48	沖縄県衛生環境研究所	南城市大里字大里2085
49	アジア大気汚染研究センター (A C A P)	新潟県新潟市西区曾和1182番地

◆大気汚染物質広域監視システム用サーバ機器一覧

No	区分	機器名	機器名(モデル名)	型番	OS
1	表示系システム	そらまめ・はなこ表示系DBサーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Red Hat Enterprise Linux 5.11
2	表示系システム	はなこWEBサーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Windows Server 2008 R2 Standard
3	表示系システム	そらまめWEBサーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Red Hat Enterprise Linux 5.11
4	表示系システム	そらまめ画像作成サーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Windows Server 2008 R2 Standard
5	表示系システム	そらまめデータ受信サーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Windows Server 2008 R2 Standard
6	表示系システム	はなこ画像作成サーバ	PRIMERGY RX2530 M1	PYR2531R3N	Windows Server 2008 R2 Standard
7	表示系システム	そらまめバックアップ用サーバ	PRIMERGY RX2530 M1	PYR2531R3N	Windows Server 2008 R2 Standard
8	収集系システム	そらまめ集信サーバ	PRIMERGY RX200 S8	PYR208R2N	Windows Server 2008 R2 Standard
9	収集系システム	はなこ収集系サーバ(はなこ集信サーバ「pollen_recv」+はなこDBサーバ「pollen_db」)	PRIMERGY RX2530 M1	PYR2531R3N	Red Hat Enterprise Linux 6.6
10	収集系システム	そらまめ集信クライアント	ESPRIMO D582/G	FMVD04002	Windows7 Pro SP1

平成28年度 大気汚染物質広域監視システム及び花粉観測システム用機器明細

I. 月額保守

項	機器種別	品名	型名	数量
(1)表示系DBサーバ(そらまめ・はなこ公関係DB)				
1	表示系DBサーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	表示系DBサーバ	Red Hat Enterprise Linux 5.11 媒体バンドル	PYBLB55	1
3	表示系DBサーバ	Xeon プロセッサ E5-2697v2(2.70GHz/12コア/30MB)x1	PYBCP31XR	1
4	表示系DBサーバ	メモリ-16GB(16GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME16RA5	2
5	表示系DBサーバ	RAID設定サービス(RAID1+0)	PYBAS10	1
6	表示系DBサーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	表示系DBサーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	4
8	表示系DBサーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	表示系DBサーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	表示系DBサーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	表示系DBサーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	表示系DBサーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	表示系DBサーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
14	表示系DBサーバ	KVMケーブル(USB、5m)	PY-CBKCU03	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	NetVault Backup 9 Standard/パッケージ(そらまめ・はなこ公関係DB(1台)用)	B5154MAH0	1
(2)はなこWEBサーバ				
1	はなこWEBサーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	はなこWEBサーバ	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPDS8	1
3	はなこWEBサーバ	Xeon プロセッサ E5-2667v2(3.30GHz/8コア/25MB)x1	PYBCP31XN	1
4	はなこWEBサーバ	メモリ-8GB(8GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME08RA5	2
5	はなこWEBサーバ	RAID設定サービス(RAID1+Hotspare)	PYBAS1H	1
6	はなこWEBサーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	はなこWEBサーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	3
8	はなこWEBサーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	はなこWEBサーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	はなこWEBサーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	はなこWEBサーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	はなこWEBサーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	はなこWEBサーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	NetVault Backup 9 for Windows Standard/パッケージ(はなこWEBサーバ(1台)用)	B5141CPAC	1
(3)そらまめWEBサーバ				
1	そらまめWEBサーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	そらまめWEBサーバ	Red Hat Enterprise Linux 5.11 媒体バンドル	PYBLB55	1
3	そらまめWEBサーバ	Xeon プロセッサ E5-2667v2(3.30GHz/8コア/25MB)x1	PYBCP31XN	1
4	そらまめWEBサーバ	メモリ-8GB(8GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME08RA5	2
5	そらまめWEBサーバ	RAID設定サービス(RAID1+0)	PYBAS10	1
6	そらまめWEBサーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	そらまめWEBサーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	4
8	そらまめWEBサーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	そらまめWEBサーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	そらまめWEBサーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	そらまめWEBサーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	そらまめWEBサーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	そらまめWEBサーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
14	そらまめWEBサーバ	KVMケーブル(USB、5m)	PY-CBKCU03	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	NetVault Backup 9 Standard/パッケージ'そらまめWEBサーバ(1台)用	B5154MAH0	1
小計				
(4)そらまめデータ受信サーバ				
1	そらまめデータ受信サーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	そらまめデータ受信サーバ	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPDS8	1
3	そらまめデータ受信サーバ	Xeon プロセッサ E5-2667v2(3.30GHz/8コア/25MB)x1	PYBCP31XN	1
4	そらまめデータ受信サーバ	メモリ-8GB(8GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME08RA5	2
5	そらまめデータ受信サーバ	RAID設定サービス(RAID1+0)	PYBAS10	1
6	そらまめデータ受信サーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	そらまめデータ受信サーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	4
8	そらまめデータ受信サーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	そらまめデータ受信サーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	そらまめデータ受信サーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	そらまめデータ受信サーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	そらまめデータ受信サーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	そらまめデータ受信サーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
14	そらまめWEBサーバ	KVMケーブル(USB、5m)	PY-CBKCU03	1
ソフトウェア				

項	機器種別	品名	型名	数量
1	ソフトウェア	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows - Japanese (そらまめデータ受信サーバ(1台))用	B5140JA6C	1
小計				
(5)そらまめ集信サーバ				
1	そらまめ集信サーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	そらまめ集信サーバ	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPDS8	1
3	そらまめ集信サーバ	Xeon プロセッサ E5-2667v2(3.30GHz/8コア/25MB)x1	PYBCP31XN	1
4	そらまめ集信サーバ	メモリ-8GB(8GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME08RA5	2
5	そらまめ集信サーバ	RAID設定サービス(RAID1+0)	PYBAS10	1
6	そらまめ集信サーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	そらまめ集信サーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	4
8	そらまめ集信サーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	そらまめ集信サーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	そらまめ集信サーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	そらまめ集信サーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	そらまめ集信サーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	そらまめ集信サーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
14	そらまめ集信サーバ	KVMケーブル(USB、3m)	PY-CBKCU02	1
小計				
(6)そらまめ画像作成サーバ				
1	そらまめ画像作成サーバ	PRIMERGY RX200 S8 ラックベースユニット(2.5インチx4)	PYR208R2N	1
2	そらまめ画像作成サーバ	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPDS8	1
3	そらまめ画像作成サーバ	Xeon プロセッサ E5-2667v2(3.30GHz/8コア/25MB)x1	PYBCP31XN	1
4	そらまめ画像作成サーバ	メモリ-8GB(8GB 1600 LV-RDIMMx1)	PYBME08RA5	2
5	そらまめ画像作成サーバ	RAID設定サービス(RAID1+Hotspare)	PYBAS1H	1
6	そらまめ画像作成サーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR2L2	1
7	そらまめ画像作成サーバ	内蔵2.5インチSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBSH305C	3
8	そらまめ画像作成サーバ	内蔵DVD-ROMユニット	PYBDV111	1
9	そらまめ画像作成サーバ	FANユニット	PYBFA04	1
10	そらまめ画像作成サーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU452	2
11	そらまめ画像作成サーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	そらまめ画像作成サーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	そらまめ画像作成サーバ	ラックレールキット	PYBRR05	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	NetVault Backup 9 for Windows Standardパッケージ(そらまめ画像作成サーバ1)用	B5141CPAC	1
(7)はなこ収集系サーバ:pollen (はなこ集信サーバ「pollen_recv」+はなこDBサーバ「pollen_db」)				
1	はなこ収集系サーバ	PRIMERGY RX2530 M1 ラックベースユニット (3.5インチ)	PYR2531R3N	1
2	はなこ収集系サーバ	Red Hat Enterprise Linux 6.6 媒体バンドル	PYBLB66	1
3	はなこ収集系サーバ	Xeon プロセッサ E5-2623v3(4コア/3GHz/10MB)x1	PYBCP41XL	1
4	はなこ収集系サーバ	メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMMx1)	PYBME08SB	1
5	はなこ収集系サーバ	RAID設定サービス(RAID1)	PYBAS1S	1
6	はなこ収集系サーバ	SASアレイコントローラカード	PYBSR3FA	1
7	はなこ収集系サーバ	内蔵3.5インチケージ付きSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBTH305D3	2
8	はなこ収集系サーバ	内蔵DVD-RAMユニット	PYBDR121	1
9	はなこ収集系サーバ	ポート拡張オプション(1000BASE-Tx2)	PYBLA302U	1
10	はなこ収集系サーバ	電源ユニット(450W)	PYBPU453	2
11	はなこ収集系サーバ	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
12	はなこ収集系サーバ	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
13	はなこ収集系サーバ	ラックレールキット	PYBRRS2	1
14	はなこ収集系サーバ	KVMケーブル(USB、3m)	PY-CBKCU02	1
15	はなこ収集系サーバ	SupportDesk Standard24[Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト1]	PYBSPR1A02	1
(8)そらまめバックアップ用				
1	そらまめバックアップ用	PRIMERGY RX2530 M1 ラックベースユニット (3.5インチ)	PYR2531R3N	1
2	そらまめバックアップ用	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPDS8	1
3	そらまめバックアップ用	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWC052	1
4	そらまめバックアップ用	Xeon プロセッサ E5-2623v3(4コア/3GHz/10MB)x1	PYBCP41XL	1
5	そらまめバックアップ用	メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMMx1)	PYBME08SB	2
6	そらまめバックアップ用	RAID設定サービス(RAID1)	PYBAS1S	1
7	そらまめバックアップ用	SASアレイコントローラカード	PYBSR3FA	1
8	そらまめバックアップ用	内蔵3.5インチケージ付きSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBTH305D3	2
9	そらまめバックアップ用	内蔵DVD-RAMユニット	PYBDR121	1
10	そらまめバックアップ用	ポート拡張オプション(1000BASE-Tx2)	PYBLA302U	1
11	そらまめバックアップ用	電源ユニット(450W)	PYBPU453	2
12	そらまめバックアップ用	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
13	そらまめバックアップ用	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
14	そらまめバックアップ用	ラックレールキット	PYBRRS2	1
15	そらまめバックアップ用	KVMケーブル(USB、3m)	PY-CBKCU02	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	Arcserve Backup r16.5 Client Agent for Windows - Japanese	B5140JB7B	1

項	機器種別	品名	型名	数量
(9) そらまめ画像作成サーバ2				
1	そらまめ画像作成サーバ2	PRIMERGY RX2530 M1 ラックベースユニット (3.5インチ)	PYR2531R3N	1
2	そらまめ画像作成サーバ2	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き	PYBWPDS8	1
3	そらまめ画像作成サーバ2	Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWCUC052	1
4	そらまめ画像作成サーバ2	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWCUC052	1
5	そらまめ画像作成サーバ2	Xeon プロセッサ E5-2623v3(4コア/3GHz/10MB)x1	PYBCP41XL	1
6	そらまめ画像作成サーバ2	メモリ-8GB(8GB 2133 RDIMMx1)	PYBME08SB	2
7	そらまめ画像作成サーバ2	RAID設定サービス(RAID1)	PYBAS1S	1
8	そらまめ画像作成サーバ2	SASアレイコントローラカード	PYBSR3FA	1
9	そらまめ画像作成サーバ2	内蔵3.5インチケージ付きSAS HDD-300GB(15krpm)	PYBTH305D3	2
10	そらまめ画像作成サーバ2	内蔵DVD-RAMユニット	PYBDR121	1
11	そらまめ画像作成サーバ2	ポート拡張オプション(1000BASE-Tx2)	PYBLA302U	1
12	そらまめ画像作成サーバ2	電源ユニット(450W)	PYBPU453	2
13	そらまめ画像作成サーバ2	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PYBCBP102	2
14	そらまめ画像作成サーバ2	ServerView Suite DVD(Tools) & ドキュメント	PYBSVT3	1
15	そらまめ画像作成サーバ2	ラックレールキット	PYBRRS2	1
16	そらまめ画像作成サーバ2	KVMケーブル(USB、3m)	PY-CBKCU02	1
ソフトウェア				
1	ソフトウェア	Arcserve Backup r16.5 Client Agent for Windows - Japanese	B5140JB7B	1
(10) その他 周辺機器等				
1	その他 周辺機器等	17インチ ラック・コンソール(RC25)	PY-R1DP1	1
2	その他 周辺機器等	電源ケーブル(AC100V対応/3m)	PY-CBP102	2
3	その他 周辺機器等	ラック・コンソール格納キット	PY-RC08	1
4	その他 周辺機器等	アナログKVMスイッチ(8ポート)	PY-KVFA08	1
5	その他 周辺機器等	KVMケーブル(USB、3m)	PY-CBKCU02	1
II. 年額保守				
(11) ソフトウェア※年額				
1	ソフトウェア	1年保守サービス(LAPLINK 13.5(14) 5ライセンスパック用)	(0780247)	1
2	ソフトウェア	1年保守サービス(LAPLINK 14 2ライセンスパック用)	0780247	1
3	ソフトウェア	VirusScan for Linux External GV (マカフィ) ライセンス	LXSYCM-AB-AG	1
4	ソフトウェア	VirusScan for Linux External GV (マカフィ) ライセンス	LXSYCM-AB-AG	2
5	ソフトウェア	ウイルスバスタービジネスセキュリティ(5-24)更新 1年	E514550S9A	10
6	ソフトウェア	SureServerチケット1年 サーバ証明書(新規・更新・乗換)	GENAPGR1	1
7	ソフトウェア	Oracle Database Standard Edition One(一年間24時間サポート付)(Windows版)	-	2
8	ソフトウェア	SIS Map Modeller 2世代バージョンアップサポート SIS MAP MODELLER 2世代VUPサポート	-	2

ネットワーク構成図

